

2024年5月15日
矢崎総業株式会社

当社開発の「FPC タイプ バスバーモジュール」 Automotive News PACE Award 2024 を受賞

矢崎総業株式会社(本社：東京都港区、社長：矢崎 陸)が開発した Flexible Printed Circuit (以下 FPC) タイプ バスバーモジュールが、このたび、Automotive News(米国)の主催する Automotive News PACE Award 2024 を受賞しました。

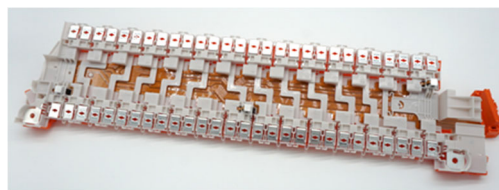
Automotive News PACE Award は、自動車産業における革新的な技術や製造プロセスを開発し、自動車産業の発展、ゲームチェンジに貢献したサプライヤーに贈られる賞で、当社は昨年度のダブル受賞に続く2年連続受賞となります。

当社はこれからも、お客様第一の製品開発に努め、モビリティ社会の安全性・快適性の向上に取り組んでまいります。



FPC タイプ バスバーモジュールについて

自動車業界をとりまく変革の中で、ハイブリッド EV やバッテリー EV といった電動車の普及が急速に進んでおり、これらの車両においては航続距離延長のニーズが高まるにつれ、ますますバッテリーの大容量化が進むと想定されます。



バッテリーの大容量化に伴い、構成部品には搭載効率を向上するための小型化や車室空間を確保するための低背化が求められます。また、高電圧バッテリーの安全性を確保することも求められます。

当社では、電動車の高圧バッテリー内で複数のセルを直列に接続すると同時にセルの電圧および温度を検出する機能を持つバスバーモジュールにおいて、電圧検出の回路を通常の電線から FPC に置き換えることでバッテリーの小型・軽量化と安全性確保に貢献できる製品を開発しました。

製品特長

1) 小型・軽量化

- ・FPC の採用により電線タイプで必要だった余長スペースを削減すると共に低背化を実現
- ・電線タイプと比較してバスバーモジュール単体で約 50%の軽量化を実現

2) 安全性確保

- ・セル直近の FPC 上にチップヒューズを搭載することで回路全体を保護
- ・独自の公差および振動吸収構造により組付け性および信頼性を向上
- ・電線タイプでは困難な生産の完全自動化が可能

以上

<お問い合わせ先>
矢崎総業株式会社 広報部
TEL : 055-965-3002
E-mail : kouhou@jp.yazaki.com